

児童発達支援 あーち 支援プログラム

作成日 令和6年11月26日

事業所理念	今日より、明日・。明日より、明後日。そしてもっとその先へ・・・ 目指す未来へまがりながら、寄り道しながらしっかりと基本的なスキルを身につけて行けるような事業所を目指します。		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ●集団生活での過ごし方を学び、実施出来るようになるようになる ●基本的な生活スキルを身につける ●就学に向けての使い方を覚える 		
営業時間	平日・土日祝 : 9時00分～18時00分	送迎実施の有無	送迎 有 (送迎範囲は要相談) 平日・土日祝 : 9時30分～17時30分の間

プログラム	支援内容(5領域)
朝の会などのお集り	イスへ着席し、お歌を歌ったり、自分のお名前を呼ばれたら返事をする。日付の確認や、シール貼りを行うことで日々の変化や手先の運動を取り入れている。(健康・生活)(言語・コミュニケーション)(人間関係・社会性)
音楽	リトミックやパラバルーン・リズム体操への参加・ペープサートを見て楽しむ。楽器に触れて、五感を養う。音楽に合わせて歌を歌うことを楽しむ。(認知・行動)(言語・コミュニケーション)
感触あそび	粘土やスライム遊びから手先の感覚や力加減などを身につける。全身への感覚刺激も取り入れながら、ボディイメージを持ちやすくしていく。苦手な感覚にも触れながら克服出来るものを増やしていく。(運動・感覚)
運動あそび	運動あそびから、個々の身体の苦手な動きや筋力アップを目指す。お友達同士で取り組むことで、協力する・相手を意識する・一緒に喜ぶ・助け合うなどの協調性を身につける。(運動・感覚)(人間関係・社会性)
製作	毎月の壁面製作への取り組みから、季節の変化や旬のものなどの四季の意識に触れる。また製作課題に取り組むことで、色の識別や・造形する楽しさ・はさみやのりの使い方を覚えるなどの取り組みを行う。(運動・感覚)(認知・行動)
お弁当	昼食時はお弁当のご持参をお願いし、食具の使い方を学ぶことや、苦手な食材へのチャレンジ、食事の準備や片づけを身につける。また持参したお弁当を全て食べて持ち帰ることで、帰宅してからも保護者の方とのコミュニケーションにつながる などを目的する。(健康・生活)
家族支援	
本児の特性・発達の状況を理解し、よりよい発達に向けて相談援助を行う。必要に応じて、今後起こりうる困りごとや、進路相談、発達に応じた支援などの相談援助を行っていく。	
移行支援	
移行先の選択についての本人や家族への相談援助や移行に向けての準備をする。事業所以外での生活の場や、就学にむけての相談援助や移行支援を行う。	
地域支援・地域連携	
関係機関と連携し、情報共有を行う。また地域の交流会に参加する。	
職員の質の向上	
職員会議の実施・内部研修・外部研修・法人ごとの会議・全事業所の専門職員の会議	
主な行事等	
外出支援・季節ごとのイベント行事の実施・クッキングレク・参観・保護者交流会・自社ビル全体での夏祭りの実施・他事業所合同レクリエーション	